

平成 30 年度・令和元年度・令和 2 年度
奈良県の母子保健の現状・県母子保健事業実績

- (1) 奈良県の主な母子保健統計の動向
- (2) H T L V - 1 陽性妊婦支援状況
- (3) 令和元年度先天性代謝異常等検査の概要
- (4) 新生児聴覚検査の概要
- (5) 小児慢性特定疾病医療費支給認定の概要
- (6) 乳児股関節健診の概要

(1)奈良県の主な母子保健統計の動向

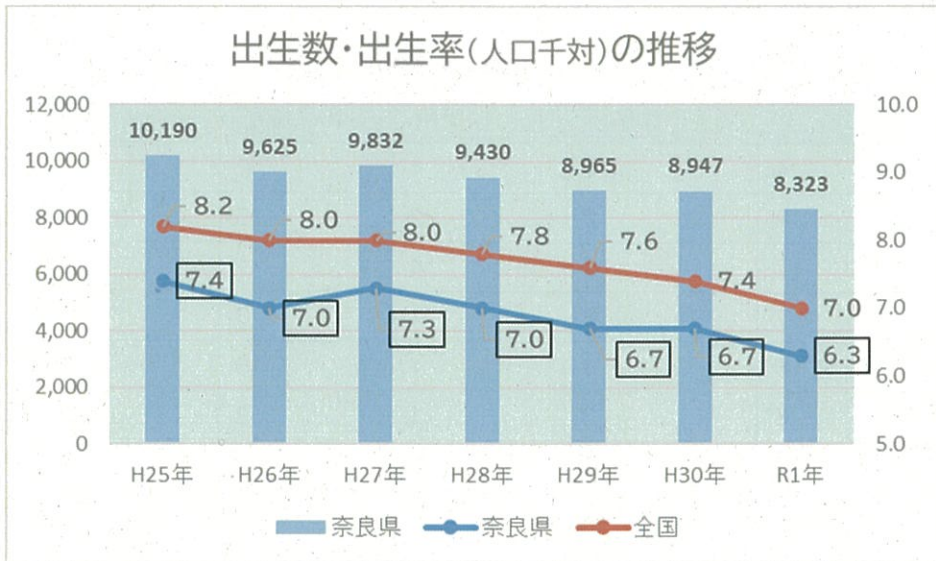
奈良県の主な母子保健統計の動向

項目		年次	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	(参考) R1全国	
出生	出生数(人)		10,981	10,758	10,694	10,400	10,565	10,190	9,625	9,832	9,430	8,965	8,947	8,323	865,239	
	出生率(人口千対)		7.9	7.7	7.7	7.5	7.7	7.4	7.0	7.3	7.0	6.7	6.7	6.3	7.0	
	合計特殊出生率		1.22	1.23	1.29	1.27	1.32	1.31	1.27	1.38	1.36	1.33	1.37	1.31	1.36	
	低出生体重児	総数(人)		1,081	999	973	953	955	980	866	903	891	773	835	731	81,462
		～ 499g		7	5	2	0	2	1	5	2	4	3	5	4	333
		500～ 999g		42	31	18	20	27	31	27	24	21	22	20	13	2,483
		1,000～1,499g		35	32	49	50	35	46	37	34	36	36	36	26	3,926
		1,500～1,999g		135	121	128	119	129	116	108	112	134	93	113	95	10,981
		2,000～2,499g		862	810	776	764	762	786	689	731	696	619	661	593	68,546
		率(出生千対)		98.4	92.9	91.0	91.6	90.4	96.2	90.0	92.0	94.4	86.2	93.3	87.8	93.9
(再掲)極低出生体重児(出生千対)		7.6	6.3	6.5	6.7	6.1	7.7	7.2	5.2	6.5	6.8	6.8	5.2	7.3		
死産	数(人)		285	257	275	293	269	255	205	214	190	211	179	184	19,454	
	率(出産千対)		25.3	23.3	25.6	28.2	25.5	24.4	20.9	20.9	19.8	23.0	19.6	21.6	22.0	
	自然死産	数(人)		131	119	138	152	124	114	99	106	89	104	79	86	8,997
		率(出産千対)		11.6	10.8	12.9	14.6	11.7	11.0	10.1	10.6	9.3	11.3	8.7	10.1	10.2
	人工死産	数(人)		154	147	137	141	145	141	106	108	101	107	100	98	10,457
		率(出産千対)		13.7	12.5	12.8	13.6	13.7	13.4	10.8	10.8	10.5	11.7	11.0	11.5	11.8
死亡	妊産婦死亡	数(人)		0	0	0	0	2	0	0	2	0	0	1	0	29
		率(出産10万対)		0	0	0	0	18.5	0	0	19.9	0	0	11	0	3.3
	周産期死亡	総数(人)		61	56	42	53	35	44	37	51	35	42	34	28	2,955
		率(出産千対)		5.5	5.2	3.9	5.1	3.3	4.4	3.8	5.2	3.7	4.7	3.8	3.4	3.4
	妊娠満22週以後の死産	数(人)		47	40	35	47	31	38	27	43	25	33	26	21	2,377
		率(出産千対)		4.3	3.7	3.3	4.5	2.9	3.8	2.8	4.3	2.6	3.7	2.9	2.5	2.7
	早期新生児死亡	数(人)		14	16	7	6	4	6	10	8	10	9	8	7	578
		率(出生千対)		1.3	1.5	0.7	0.6	0.4	0.6	1.0	0.9	1.1	1	0.9	0.8	0.7
	新生児死亡	数(人)		18	21	8	9	7	9	12	10	12	12	9	8	755
		率(出生千対)		1.6	2.0	0.7	0.9	0.7	0.9	1.2	1.0	1.3	1.3	1.0	1.0	0.9
乳児死亡	数(人)		30	43	24	14	25	19	24	16	30	23	20	15	1,654	
	率(出生千対)		2.7	4.0	2.2	1.3	2.4	1.9	2.5	1.6	3.2	2.6	2.2	1.7	1.9	

<言葉の定義>

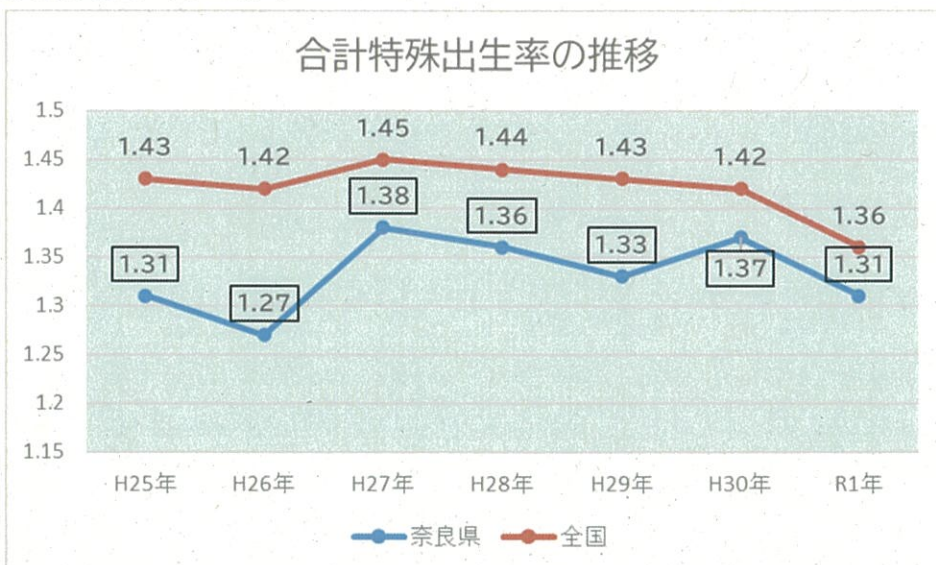
- 出生率：件数/人口×1,000
- 合計特殊出生率：(母の年齢別出生数/同年齢の女子人口)の15歳から49歳までの合計
- 死産：妊娠12週以後における死産の出産 死産率=死産数/(出生数+死産数)×1,000
人工死産：胎児の母体内生存が確実であるときに、人工的処置を加えたことにより死産に至った場合をいう。
自然死産：人工死産以外の場合をすべて自然死産とする。
- 妊産婦死亡率：妊産婦死亡数/(出生数+死産数)×100,000
- 周産期死亡率：(妊娠満22週以後の死産数+早期新生児死亡数)/(出生数+妊娠満22週以後の死産数)×1,000
妊娠満22週以後の死産率：妊娠満22週以後の死産数/(出生数+妊娠満22週以後の死産数)×1,000
早期新生児死亡：早期新生児死亡数/出生数×1,000(生後1週未満の死亡)
- 新生児死亡率：新生児死亡数/出生数×1,000(生後4週未満の死亡)
- 乳児死亡率：乳児死亡数/出生数×1,000(生後1年未満の死亡)

❖出生数の推移



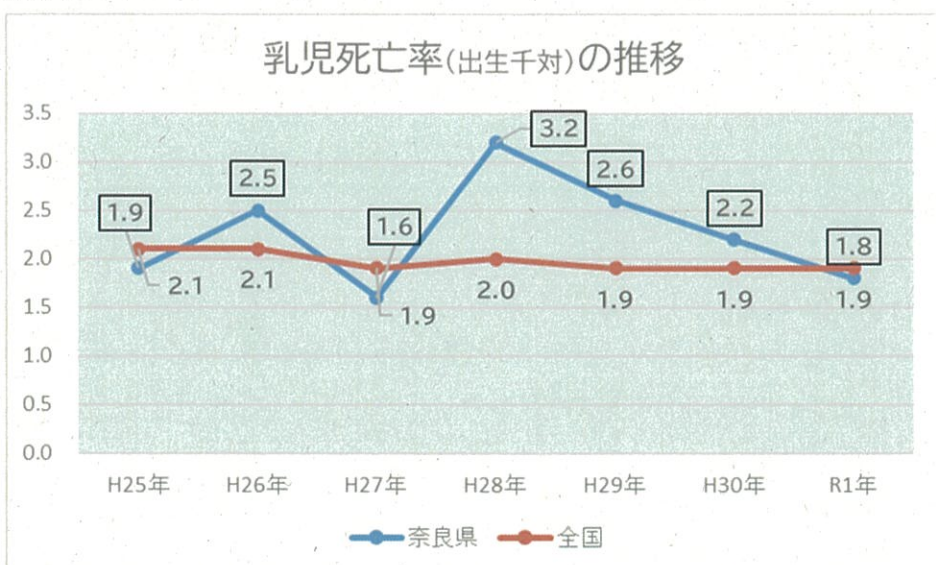
出生数は、県、全国ともに年々減少傾向。
R1年度の出生率は、
全国7.0、県6.3で、
県は全国より低い。

❖合計特殊出生率の推移



県、全国ともに低下。
県は全国より低い。

❖乳児死亡率



H28年度以降、乳児死亡率は低下している。
R2年度の乳児死亡率は、
全国より低い。

(2)HTLV-1陽性妊婦支援状況

	新規支援者数 (人)	保健所管内別新規支援者数 (人)			
		奈良市保健所	郡山保健所	中和保健所	吉野保健所
平成26年度	4	1	1	2	0
平成27年度	9	2	2	5	0
平成28年度	7	2	4	1	0
平成29年度	7	3	1	3	0
平成30年度	8	1	1	6	0
令和元年度	6	3	1	2	0
令和2年度	2	0	0	2	0

(3)先天性代謝異常等検査の概要

●合計検査件数検査件数及び検査項目別内訳

<平成30年度>

検査項目別内訳	初回検査(人) (受検者実人数)	再検査件数		要精検人数(人) (要精検実人数)	要精検率 (%)	疑われた疾患
		再検査依頼件数 (延べ件数)	再検査実施件数 (延べ件数)			
先天性代謝異常検査 (ガラクトース血症)	9,585	28	26	5	0.05	ガラクトース血症 5件
先天性甲状腺機能 低下症検査		143	139	12	0.13	先天性甲状腺機能低下症 12件
先天性副腎 過形成症検査		91	51	2	0.02	先天性副腎過形成症 2件
先天性代謝異常検査 (タンデムマス法)		26	21	7	0.07	メチルマロン酸欠症 1件 プロピオン酸欠症 1件 OPT-2欠損症 2件 フェニルケトン尿症 1件 シトルリン血症1型 2件 アルギノコハク酸尿症 2件 その他アミノ酸代謝異常疾患の疑い 1件 3-メチルクロニルグリシン尿症 1件 3-ヒドロキシ-3-メチルグルタル酸血症 1件 複合カルボキシラーゼ欠損症 1件 (重複有り)
平成30年度累計	9,585	288	237	25	0.26	

※重複して2疾患が「要精密検査」結果となった者1名

<令和元年度>

検査項目別内訳	初回検査(人) (受検者実人数)	再検査件数		要精検人数(人) (要精検実人数)	要精検率 (%)	疑われた疾患
		再検査依頼件数 (延べ件数)	再検査実施件数 (延べ件数)			
タンデムマス法	9,298	28	26	3	0.03	①CPT-2欠損症 ②ホモシステイン尿症 ③CPT-2欠損症
ガラクトース血症		18	17	2	0.02	ガラクトース血症 2件
先天性甲状腺機能低下症		111	109	16	0.17	先天性甲状腺機能低下症 16件
先天性副腎過形成症		87	48	3	0.03	先天性副腎過形成症 3件
令和元年度累計	9,298	244	200	24	0.26	延べ 24件

<令和2年度>

検査項目別内訳	初回検査(人) (受検者実人数)	再検査件数		要精検人数(人) (要精検実人数)	要精検率 (%)	疑われた疾患
		再検査依頼件数 (延べ件数)	再検査実施件数 (延べ件数)			
タンデムマス法	8,563	13	12	3	0.04	①CPT-II欠損症 ②シトルリン血症1型 アルギノコハク酸尿症 ③フェニルケトン尿症
ガラクトース血症		21	21	2	0.02	ガラクトース血症 2件
先天性甲状腺機能低下症		138	135	16	0.19	先天性甲状腺機能低下症 16件
先天性副腎過形成症		60	28	1	0.01	先天性副腎過形成症 1件
令和2年度累計	8,563	232	196	22	0.26	延べ 23件

※重複して2疾患が「要精密検査」結果となった者1名

・検査対象は県内出生児であり、他県在住の里帰り児を含む一方、奈良県在住であっても他県で出生した児は含まれない。

(検査機関報告からの集計(検査料金請求ベース)であり、以下の点に注意)

- ・【再採血(全検査を実施)】対象であった場合は、再検査基準に相当する検査項目があっても【再検査】には計上されず、【再採血】として計上。
- ・再検査実施数は 該当年度に実施した数であるため、前年度出生児(前年度に再採血を依頼)であって該当年度に検体提出されたものを含む。一方、該当年度に再採血依頼をも、検体提出が次年度になったものは含まれない。

<参考>奈良県先天性代謝異常検査等実施状況について

- ① 2018年度、2019年度、2020年度の検体について記載しています。
- ② それぞれの疾患の精査件数⇒2018年度については、小児科等で精査を実施した数は把握できていませんので、「要精密検査」とされた数のみを記載しています。

2018年度	検査検体※1 (実人数)	要精密検査 とされた数
タンデムマス法	9,826 (9,585)	7
ガラクトース血症	9,834 (9,585)	5
先天性甲状腺機能低下症	9,943 (9,585)	12
副腎過形成	9,854 (9,585)	2
計	39,457 (9,585)	26

※検査検体数＝初回検査検体＋再採血検体＋再検査検体の合計

2018年度 (平成30年度)
タンデムマス法精査理由
① CPT-II欠損症
② CPT-II欠損症
③ メチルマロン酸血症 プロピオン酸血症
④ フェニルケトン尿症
⑤ シトルリン血症1型 アルギノコハク酸尿症 その他のアミノ酸代謝異常疑
⑥ 3-メチルクロコガリシン尿症 3-ヒドロキシ-3-メチルグルタル酸血症 複合加糖キラーゼ欠損症
⑦ シトルリン血症1型 アルギノコハク酸尿症

2019年度	検査検体※1 (実人数)	要精密検査 とされた数	確定診断 数※2
タンデムマス法	9,298 (9,113)	3	1
ガラクトース血症	9,292 (9,113)	2	0
先天性甲状腺機能低下症	9,382 (9,113)	16	—
先天性副腎過形成	9,325 (9,113)	3	1
計	37,297(9,113)	24	2

※1 検査検体数＝初回検査検体＋再採血検体＋再検査検体の合計

※2 県内主要4病院で確定診断を行った数の合計

2019年度 (令和元年度)
タンデムマス法精査理由
① CPT-II欠損症
② ホモシスチン尿症
③ CPT-II欠損症

2020年度	検査検体※1 (実人数)	要精密検査 とされた数	確定診断 数※2
タンデムマス法	8,749 (8,563)	3	2
ガラクトース血症	8,760 (8,563)	2	0
先天性甲状腺機能低下症	8,874 (8,563)	16	—
先天性副腎過形成	8,765 (8,563)	1	0
計	34,252(8,563)	22	2

※1 検査検体数＝初回検査検体＋再採血検体＋再検査検体の合計

※2 県内主要4病院で確定診断を行った数の合計

2020年度 (令和2年度)
タンデムマス法精査理由
① CPT-II欠損症
② シトルリン血症1型 アルギノコハク酸尿症
③ フェニルケトン尿症

(奈良県先天性代謝異常等検査対象20疾患)
奈良県小児慢性特定疾病および指定難病認定者数

令和元年度奈良県新生児マススクリーニング
ネットワーク会議提供資料

<H30年度>

疾患群	※疾患 番号	疾患名	平成31年3月 31日時点の 小児慢性特定 疾病認定者数		平成31年3月 31日時点の 指定難病認定 者数		平成31年3月 31日時点の 合計認定者数	
			うち平成30年 度新規認定者		うち平成30年 度新規認定者		うち平成30年 度新規合計認 定者	
アミノ酸代謝異常 症	1	フェニルケトン尿症	2	0	4	0	6	0
	2	メーブルシロップ尿症						
	3	ホモシステイン尿症			—	—		
	4	シトルリン血症Ⅰ型	1	0	—	—	1	0
	5	アルギニノコハク酸尿症			—	—		
有機酸代謝異常 症	6	メチルマロン酸血症	1	0			1	0
	7	プロピオン酸血症	2	1			2	1
	8	イソ吉草酸血症						
	9	メチルクロトニルグリシン尿症			—	—		
	10	ヒドロキシメチルグリタル酸(HMG)血症			—	—		
	11	複合カルボキシラーゼ欠損症						
	12	グルタル酸血症Ⅰ型						
脂肪酸代謝異常 症	13	中鎖アシルCoA脱水素酵素(MCAD)欠損症	1	0	—	—	1	0
	14	極長鎖アシルCoA脱水素酵素(VLCAD)欠損症			—	—		
	15	三頭酵素(TFP)欠損症/長鎖3-ヒドロキシアシル CoA脱水素酵素(LCHAD)欠損症						
	16	カルチニンパルミトイルトランスフェラーゼ-Ⅰ (CPT1)欠損症						
	17	カルチニンパルミトイルトランスフェラーゼ-Ⅱ (CPT2)欠損症						
糖質代謝 異常症	18	ガラクトース血症						
内分泌疾患	19	先天性副腎過形成症	10	1	5	0	15	1
		先天性甲状腺機能低下症	59	6	—	—	59	6
合 計			76	8	9	0	85	8

(令和元年度現在、奈良県先天性代謝異常等検査対象外の疾患(2次疾患))
平成30年度奈良県小児慢性特定疾病および指定難病認定者数

疾患群	※疾患 番号	疾患名	平成31年3月 31日時点の 小児慢性特定 疾病認定者数		平成31年3月 31日時点の 指定難病認定 者数		平成31年3月 31日時点の 合計認定者数	
			うち平成30年 度新規認定者		うち平成30年 度新規認定者		うち平成30年 度新規合計認 定者	
		カルニチンアシルカルニチントランスロカーゼ (CACT)欠損症						
		βケトチオラーゼ欠損症						
		シトリン欠損症	5	1			5	1
		全身性カルニチン欠乏症			—	—		
		グルタル酸血症Ⅱ型						
合 計			5	1			5	1

(奈良県先天性代謝異常等検査対象20疾患)

奈良県小児慢性特定疾病および指定難病認定者数

令和2年度奈良県新生児マススクリーニングネットワーク会議提供資料

<令和元年度>

疾患群	※疾患番号	疾患名	令和2年3月31日時点の小児慢性特定疾病認定者数		令和2年3月31日時点の指定難病認定者数		令和2年3月31日時点の合計認定者数	
				うち令和元年度新規認定者		うち令和元年度新規認定者		うち令和元年度新規合計認定者
アミノ酸代謝異常症	1	フェニルケトン尿症	2	0	3	0	5	0
	2	メーブルシロップ尿症						
	3	ホモシスチン尿症			—	—		
	4	シトルリン血症Ⅰ型	1	0	—	—	1	0
	5	アルギニコハク酸尿症			—	—		
有機酸代謝異常症	6	メチルマロン酸血症	1	0			1	0
	7	プロピオン酸血症	2	0			2	0
	8	イソ吉草酸血症						
	9	メチルクロトニルグリシン尿症			—	—		
	10	ヒドロキシメチルグリタル酸(HMG)血症			—	—		
	11	複合カルボキシラーゼ欠損症						
	12	グルタル酸血症Ⅰ型						
脂肪酸代謝異常症	13	中鎖アシルCoA脱水素酵素(MCAD)欠損症	1	0	—	—	1	0
	14	極長鎖アシルCoA脱水素酵素(VLCAD)欠損症			—	—		
	15	三頭酵素(TFP)欠損症/長鎖3-ヒドロキシアシルCoA脱水素酵素(LCHAD)欠損症						
	16	カルチニンパルミトイルトランスフェラーゼⅠ(CPT1)欠損症						
	17	カルチニンパルミトイルトランスフェラーゼⅡ(CPT2)欠損症						
糖質代謝異常症	18	ガラクトース血症						
内分泌疾患	19	先天性副腎過形成症	14	0	6	1	20	1
		先天性甲状腺機能低下症	60	4	—	—	60	4
合計			81	4	9	1	90	5

(令和2年度現在、奈良県先天性代謝異常等検査対象外の疾患(2次疾患))

令和元年度奈良県小児慢性特定疾病および指定難病認定者数

疾患群	※疾患番号	疾患名	令和2年3月31日時点の小児慢性特定疾病認定者数		令和2年3月31日時点の指定難病認定者数		令和2年3月31日時点の合計認定者数	
				うち令和元年度新規認定者		うち令和元年度新規認定者		うち令和元年度新規合計認定者
		カルチニンアシルカルニチントランスロカーゼ(CACT)欠損症						
		βケトチオラーゼ欠損症						
		シトリン欠損症	5	1	1	0	6	1
		全身性カルニチン欠乏症			—	—		
		グルタル酸血症Ⅱ型						
合計			5	1	1	0	6	1

(奈良県先天性代謝異常等検査対象20疾患)

奈良県小児慢性特定疾病および指定難病認定者数

令和3年度奈良県新生児マススクリーニング
ネットワーク会議提供資料

<令和2年度>

疾患群	※疾患番号	疾患名	令和3年3月31日時点の小児慢性特定疾病認定者数		令和3年3月31日時点の指定難病認定者数		令和3年3月31日時点の合計認定者数	
			うち令和2年度新規認定者		うち令和2年度新規認定者		うち令和2年度新規認定者	
アミノ酸代謝異常症	1	フェニルケトン尿症	2	0	4	1	6	1
	2	メープルシロップ尿症	0	0	3	0	3	0
	3	ホモシスチン尿症	0	0	—	—		
	4	シトルリン血症Ⅰ型	1	0	—	—	1	0
	5	アルギニノコハク酸尿症	0	0	—	—		
有機酸代謝異常症	6	メチルマロン酸血症	1	0	0	0	1	0
	7	プロピオン酸血症	2	0	0	0	2	0
	8	イソ吉草酸血症	0	0	0	0		
	9	メチルクロトニルグリシン尿症	0	0	—	—		
	10	ヒドロキシメチルグリタル酸(HMG)血症	0	0	—	—		
	11	複合カルボキシラーゼ欠損症	0	0	0	0		
	12	グルタル酸血症Ⅰ型	0	0	0	0		
脂肪酸代謝異常症	13	中鎖アシルCoA脱水素酵素(MCAD)欠損症	1	0	—	—	1	0
	14	極長鎖アシルCoA脱水素酵素(VLCAD)欠損症	0	0	—	—		
	15	三頭酵素(TFP)欠損症/長鎖3-ヒドロキシアシルCoA脱水素酵素(LCHAD)欠損症	0	0	0	0		
	16	カルチニンパルミトイルトランスフェラーゼⅠ(CPT1)欠損症	0	0	0	0		
	17	カルチニンパルミトイルトランスフェラーゼⅡ(CPT2)欠損症	0	0	0	0		
糖質代謝異常症	18	ガラクトース血症	0	0	0	0		
内分泌疾患	19	先天性副腎過形成症	14	1	6	0	20	1
		先天性甲状腺機能低下症	58	6	—	—	58	6
合計			79	7	13	1	92	8

(令和2年度現在、奈良県先天性代謝異常等検査対象外の疾患(2次疾患))

令和元年度奈良県小児慢性特定疾病および指定難病認定者数

疾患群	※疾患番号	疾患名	令和2年3月31日時点の小児慢性特定疾病認定者数		令和2年3月31日時点の指定難病認定者数		令和2年3月31日時点の合計認定者数	
			うち令和2年度新規認定者		うち令和2年度新規認定者		うち令和2年度新規認定者	
		カルニチンアシルカルニチントランスロカーゼ(CACT)欠損症	0	0	0	0		
		βケトチオラーゼ欠損症	0	0	0	0		
		シトリン欠損症	5	1	3	2	8	3
		全身性カルニチン欠乏症	0	0	—	—		
		グルタル酸血症Ⅱ型	0	0	0	0		
合計			5	1	3	2	8	3

奈良県新生児マススクリーニングネットワーク会議について

1. 目的

先天性代謝異常、先天性副腎過形成症及び先天性甲状腺機能低下症は、これを放置すると知的障害などの症状を来すことから、新生児について血液によるマススクリーニング検査を行い、疾患を早期に発見し、適正な治療につなげることで、障害を予防することを目的として実施している。

本会議は、先天性代謝異常等検査事業等対象疾患の患者情報(受診及び治療状況)を把握するとともに、新生児マススクリーニングの精度のフィードバック及び改善点の検討、また、稀少疾患の正確な疫学情報を得ることで診断や治療法の向上に資することを目的とする。また、県として児やその家族が小児慢性特定疾病医療費助成のサービス利用にスムーズに移行でき、適切な支援を受けることのできる体制を構築することを目的とする。

2. 実施主体

奈良県立医科大学 小児科学教室 共催:奈良県健康推進課

3. 会議メンバー

奈良県立医科大学 総合周産期母子医療センター 病院教授 西久保 敏也
奈良県立医科大学 小児科 助教 長谷川 真理
奈良県総合医療センター 小児科部長 吉田 さやか
近畿大学奈良病院 小児科 教授 虫明 聡太郎
天理よろづ相談所病院 院長 山中 忠太郎
奈良県健康推進課 参事 橋本 和子

4. 開催

令和元年度より年1回開催している。

(4) 新生児聴覚検査の概要

1 産科医療機関(病院・診療所)報告

① 県内分娩取り扱い医療機関における検査実施状況の推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年度	令和元年度
産科医療機関数	28	28	29	28	28	26
検査実施医療機関数	25	23	24	26	26	25
実施率	89.3%	82.1%	82.8%	92.9%	92.9%	96.2%
未実施	3	2	2	1	2	1
不明(アンケート未回答)	0	3	3	1	0	0

令和元年度の聴覚検査実施産科医療機関: 26 機関中 25 機関で実施可能(96.2%)

*平成30年度以降は、4月～翌年3月の県内出生児について集計・平成29年度以前は、毎年1月～12月の県内出生児について集計
*他県居住の里帰り分娩による出生児を含んだ集計 (一方、県内居住であるが他県で分娩した新生児は含まれない)

② 検査を受けた新生児数の推移(アンケート回答のあった医療機関での集計)

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年度	令和元年度
県内医療機関での出生児数	10,085人	8,490人	9,196人	9,407人	9,356人	8,772人
検査を受けた新生児数	8,509人	8,091人	8,380人	8,884人	9,017人	8,475人
受検率	84.4%	95.3%	91.6%	94.4%	96.4%	96.6%

検査の受検率は年々増加している。

③ 検査機器

	平成29年	平成30年度	令和元年度
AABRとOAEの併用	6機関	6機関	5機関
AABR	13機関	14機関	12機関
OAE	7機関	6機関	8機関

④ 検査結果

平成30年度	検査結果			
検査を受けた新生児数	パス	リファー		
9,017人 (96.4%)	8,913人 (98.8%)	両側 27人 0.3%	一側 77人 0.9%	判定不能 0人 0.0%

令和元年度	検査結果			
検査を受けた新生児数	パス	リファー		
8,475人 (96.6%)	8,349人 (98.5%)	両側 28人 0.3%	一側 93人 1.1%	判定不能 5人 0.1%

⑤ 他施設出生児の外来検査状況

<外来検査の可否>

	平成30年度	令和元年度
実施可能機関	15施設	13施設
検査実績あり	11施設	9施設

令和元年度は検査実施医療機関 25 施設のうち 13 施設が他施設出生児の対応が可能であり、そのうち 9 施設が実績あり。

<他施設出生児の検査結果>

平成30年度 検査を受けた新生児数	パス	検査結果		
		リファー		
236人	230人 (97.5%)	両側	一側	判定不能
		6人	0人	0人
		2.6%	0.0%	0.0%

令和元年度 検査を受けた新生児数	パス	検査結果		
		リファー		
245人	216人 (88.1%)	両側	一側	判定不能
		11人	18人	0人
		4.5%	7.4%	0.0%

<依頼元医療機関への検査結果報告の有無>

	検査実績のある 医療機関数	結果報告あり		結果報告なし	
		数	割合	数	割合
平成29年度	10	8	80.0%	2	20.0%
平成30年度	10	4	40.0%	6	60.0%
令和元年度	11	7	63.6%	4	36.4%

※R1: 不明1件あり

依頼元への結果報告は、令和元年度は 63.6%で前年度よりは上昇している。

2 助産所報告

① 県内助産所での実施状況の推移

	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年度	令和元年度
助産所数	9	9	8	8	8	7
検査実施助産所数	1	1	1	1	1	1
実施率	11.1%	11.1%	12.5%	12.5%	12.5%	14.3%
未実施	8	8	7	7	7	6

令和元年度は7助産所のうち 1 施設で検査実施。自院で検査していない6施設は、新生児聴覚検査について説明し、外来検査可能な医療機関を紹介している。

- * 平成30年度以降は、4月～翌年3月の県内出生児について集計
- 平成29年度以前は、毎年1月～12月の県内出生児について集計
- * 他県居住の里帰り分娩による出生児を含んだ集計

② 検査結果

平成 30 年度以降は、4 月～翌年 3 月の出生児で、新生児スクリーニング検査後の要精密検査対象者

<平成 30 年度>

精密検査を受けた児数	検査結果			
	異常なし	難聴		
92 人 (県内 86 人)	57 人 (62.0%) (県内 53 人)	35 人 (38.0%)		
		両側	一側	判定不能
		21 (県内 20)	14 (県内 12)	0
		22.8%	15.2%	0.0%

<令和元年度>

精密検査を受けた児数	検査結果				
	異常なし	難聴			
107 人 (県内 91 人)	65 人 (60.7%) (県内 54 人)	41 人 (38.4%)			
		一側	両側	判定不能	
			軽～中等		高度
		17 (県内 15 人)	14 (県内 12)	10 (県内 9 人)	1 (県内 1)
		15.9%	13.1%	9.3%	0.9%

③ 受診動機

<令和元年度>

精密検査	受診動機				
精密検査を受けた児数	スクリーニング検査リファー	健診その他行政サービスでの指摘	かかりつけ医からの指摘	その他	不明
107 人	81 人	1 人	7 人	16 人	2 人
	75.7%	0.9%	6.5%	15.0%	1.9%

(再掲)うち、高度難聴について 受診動機

精密検査	受診動機			
精密検査を受けた児数	スクリーニング検査リファー	健診その他行政サービスでの指摘	かかりつけ医からの指摘	その他
10 人	8 人	0 人	1 人	1 人
	80.0%	0.0%	10.0%	10.0%

※ その他：NICU からの紹介

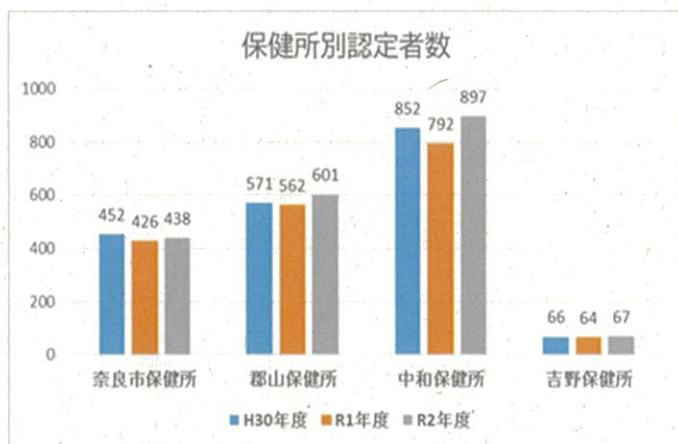
(5)小児慢性特定疾病医療費支給認定の概要

1. 認定者数

	H30年度	R1年度	R2年度
新規申請者数	331	338	288
更新申請者数	1610	1506	1715
認定者数合計	1941	1844	2003

2. 管轄保健所別認定者数

	H30年度	R1年度	R2年度
奈良市保健所	452	426	438
郡山保健所	571	562	601
中和保健所	852	792	897
吉野保健所	66	64	67
認定者数合計	1941	1844	2003



3. 男女別人数

	H30年度	R1年度	R2年度
男	1043	990	1073
女	898	854	930
認定者数合計	1941	1844	2003

4. 世代別人数

	H30年度	R1年度	R2年度
就学前(0~6歳)	506	443	441
小学生(7~12歳)	660	622	653
中学生(13~15歳)	354	374	394
高校生(16~18歳)	320	329	357
19歳	101	76	158
認定者数合計	1941	1844	2003

5. 疾患群別認定者数(延人数)

	H30年度	R1年度	R2年度
1 悪性新生物	180	176	198
2 慢性腎疾患	113	100	106
3 慢性呼吸器疾患	87	88	94
4 慢性心疾患	388	349	370
5 内分泌疾患	572	504	553
6 膠原病	54	52	59
7 糖尿病	69	70	78
8 先天性代謝異常	43	39	40
9 血液疾患	56	53	55
10 免疫疾患	14	15	17
11 神経・筋疾患	174	177	189
12 慢性消化器疾患	110	120	135
13 染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	50	50	52
14 皮膚疾患	9	10	10
15 骨系統疾患	4	6	6
16 脈管系統疾患	18	35	41
認定者数合計	1941	1844	2003

6. 人工呼吸器装着患者の状況

①保健所別人工呼吸器装着者数

	H30年度	R元年度	R2年度
奈良市保健所	7	13	4
郡山保健所	18	17	16
中和保健所	21	23	21
吉野保健所	1	0	2
計	47	53	43

②疾患群別人工呼吸器装着数

	H30年度	R元年度	R元年度
慢性呼吸器疾患	24	23	22
慢性新疾患	3	4	2
内分泌疾患	2	2	2
先天性代謝異常	7	8	6
神経・筋疾患	7	11	8
慢性消化器疾患	1	1	1
染色体又は遺伝子に変化を伴う疾患群	2	3	2
骨系統疾患	1	1	0
計	47	53	43

(6)乳児股関節健診の概要

市町村名	H30年度				R1年度				R2年度			
	乳児健診 対象者数	乳児健診 受診者数 (A)	要精検者数 (B)	精検率 (B)／(A)	乳児健診 対象者数	乳児健診 受診者数 (A)	要精検者数 (B)	精検率 (B)／(A)	乳児健診 対象者数	乳児健診 受診者数 (A)	要精検者数 (B)	精検率 (B)／(A)
奈良市	2,352	2,299	55	2.4%	2,201	2,163	43	2.0%	2,135	2,095	52	2.5%
大和高田市	356	340	32	9.4%	364	353	62	17.6%	357	340	55	16.2%
大和郡山市	525	508	0	0.0%	502	486	1	0.2%	463	456	1	0.2%
天理市	512	497	1	0.2%	441	422	1	0.2%	303	293	2	0.7%
橿原市	921	907	16	1.8%	883	862	13	1.5%	819	794	22	2.8%
桜井市	391	369	11	3.0%	346	336	31	9.2%	337	328	32	9.8%
五條市	126	126	0	0.0%	222	217	0	0.0%	92	90	0	0.0%
御所市	112	110	1	0.9%	114	112	0	0.0%	95	94	0	0.0%
生駒市	843	808	50	6.2%	790	779	50	6.4%	702	677	47	6.9%
香芝市	688	675	3	0.4%	680	668	16	2.4%	692	671	8	1.2%
葛城市	317	313	36	11.5%	278	276	36	13.0%	281	277	43	15.5%
宇陀市	106	104	0	0.0%	104	103	1	1.0%	113	102	1	1.0%
山添村	10	10	2	20.0%	12	12	1	8.3%	10	9	0	0.0%
平群町	89	88	7	8.0%	96	92	3	3.3%	75	73	1	1.4%
三郷町	189	181	3	1.7%	166	162	0	0.0%	164	158	2	1.3%
斑鳩町	228	227	0	0.0%	204	201	0	0.0%	219	214	1	0.5%
安堵町	51	51	0	0.0%	42	42	1	2.4%	39	39	0	0.0%
川西町	52	52	0	0.0%	47	47	0	0.0%	46	46	2	4.3%
三宅町	40	39	0	0.0%	35	34	0	0.0%	38	38	0	0.0%
田原本町	243	240	5	2.1%	227	217	6	2.8%	201	196	5	2.6%
菅爾村	7	6	0	0.0%	4	4	0	0.0%	3	3	0	0.0%
御杖村	1	1	0	0.0%	2	2	0	0.0%	3	3	0	0.0%
高取町	25	25	0	0.0%	22	21	0	0.0%	22	21	1	4.8%
明日香村	52	50	0	0.0%	28	28	0	0.0%	30	30	0	0.0%
上牧町	125	122	1	0.8%	85	82	0	0.0%	92	87	0	0.0%
王寺町	262	260	4	1.5%	196	194	3	1.5%	227	224	3	1.3%
広陵町	278	278	14	5.0%	272	270	5	1.9%	219	213	13	6.1%
河合町	86	85	3	3.5%	80	80	17	21.3%	69	69	6	8.7%
吉野町	19	19	2	10.5%	16	15	1	6.7%	13	13	0	0.0%
大淀町	83	81	2	2.5%	64	61	2	3.3%	63	61	0	0.0%
下市町	24	24	0	0.0%	17	17	0	0.0%	12	12	0	0.0%
黒滝村	4	4	0	0.0%	4	4	0	0.0%	5	5	0	0.0%
天川村	3	3	0	0.0%	1	1	0	0.0%	0	0	0	0.0%
野迫川村	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%	0	0	0	0.0%
十津川村	60	55	0	0.0%	11	11	0	0.0%	9	8	0	0.0%
下北山村	5	5	0	0.0%	1	1	0	0.0%	4	4	0	0.0%
上北山村	0	0	0	0.0%	4	4	0	0.0%	5	5	0	0.0%
川上村	5	5	0	0.0%	26	23	0	0.0%	9	9	0	0.0%
東吉野村	1	1	0	0.0%	4	4	0	0.0%	3	3	0	0.0%
計	9,191	8,968	248	2.8%	8,591	8,406	293	3.5%	7,969	7,760	297	3.8%

